

純 正

リアフォグランプ



## 取付説明書

この度は **リアフォグランプ** をお買い上げ頂きまして有難うございました。

常に最良の状態でご使用頂く為にこの取付説明書をよくお読み頂き、内容をご理解された上で正しくご使用下さい。

尚、取付説明書は、ご使用の都度確認頂きたく、必ず保管しておいて下さい。

### ご注意とお願い

- この取付説明書に表示されている  注意マークと  警告マークは、取り付け、取り扱いに関する安全上の注意事項ですので必ず厳守して下さい。
- この商品を改造しての取り付けは絶対に行わないで下さい。
- この取付説明書に記載されていない取り付け、及び使用方法は、絶対に行わないで下さい。
- 取り付けミスをできるだけ避ける為にも、取り付けはマツダ販売店でお願いします。
- この商品の取り付け、取り扱いにつきまして、ご不明な点がございましたら商品購入先の販売店にお問い合わせ頂き、ご理解された上でお取り扱い下さい。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご了承下さい。

1

部品番号/品名 **F151 V7 250** **リアフォグランプ (DSC 付き車)**

**F152 V7 250A** **リアフォグランプ (DSC 無し車)**

適用車種 **R X-8**

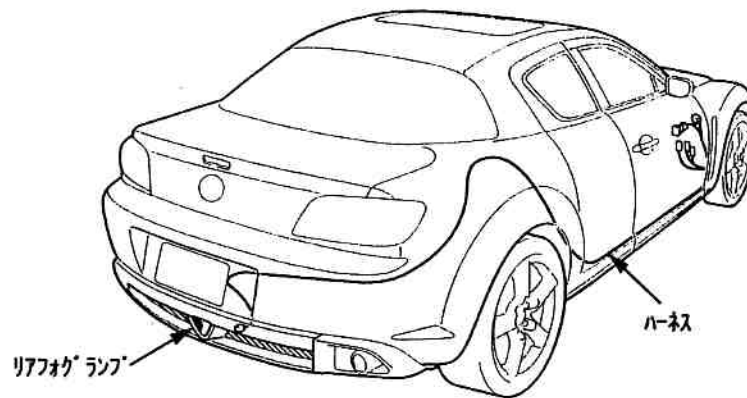
※ 適用車種等不明な場合は販売店にお問い合わせの上確認して下さい。

— お願い —

この取付説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

**マツダ株式会社**

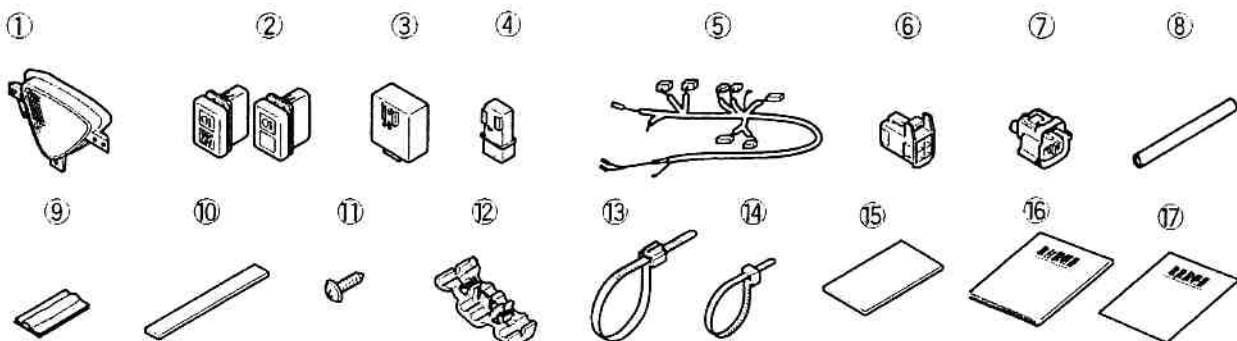
広島県安芸郡府中町新地 3-1



注意

構成部品表の部品が全部あるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認して下さい。

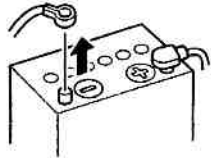
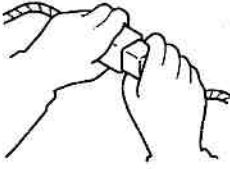
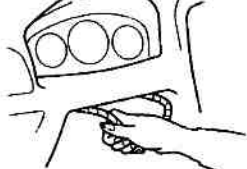

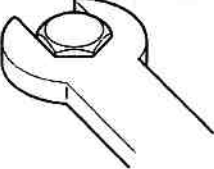
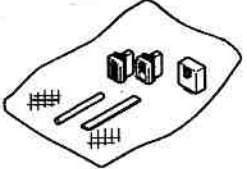
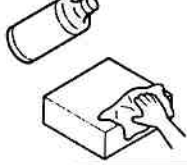

No.	部品名	数量	部品番号
①	リアフォグランプ	1	FE15 51 650A
②	リアフォグランプスイッチ (DSC 付き車用または、DSC 無し車用)	1	F151 V7 255 (DSC 付き車用) F152 V7 255 (DSC 無し車用)
③	CPU	1	NC82 67 560
④	リレー	2	B150 67 730
⑤	ハーネス	1	_____
⑥	コネクタハウジング	1	_____
⑦	防水コネクタハウジング	1	_____
⑧	チューブ	1	_____
⑨	ブチルテープ (長さ 50mm)	1	_____
⑩	両面テープ (長さ 60mm)	1	_____
⑪	タッピングスクリュー	3	99865 0516
⑫	エレクトロタップ	1	99707 0108
⑬	バンド (大)	3	99709 3250
⑭	バンド (小)	23	BC1M 50 EH1
⑮	プロテクター (100mm×50mm)	5	G001 67 061
⑯	取付説明書	1	_____
⑰	取扱説明書	1	_____



使用工具（作業を始める前に必ず用意して下さい。）

- ・⊕ドライバー      ・⊖ドライバー      ・⊖細口ドライバー      ・超音波カッター
- ・絶縁テープ      ・保護シート      ・保護テープ      ・キリ等
- ・プライヤー      ・ニッパー      ・ピン等      ・ヤスリ
- ・ファスナーリムーバー      ・IPA（イソプロピルアルコール）又はホワイトガソリン
- ・ソケットレンチ（10mm、12mm）      ・柔らかい布（きれいなもの）

### ⚠ 注意

<p>バッテリーの⊖ターミナルを切り離して作業を行って下さい。</p>	<p>コネクタの切り離し／接続はコネクタ本体を持って確実に行って下さい。</p>	<p>ハーネスは無理に引っ張らないで下さい。</p>
		
<p>部品の取り外し／取り付けはマット等を使用して作業を行って下さい。</p>	<p>使用目的及び寸法に合った工具を使用して、確実に作業を行って下さい。</p>	<p>取り外した部品／キット部品は傷を付けない様に保護シート等の上に置いて下さい。</p>
		
<p>両面テープを使用して部品を取り付ける際は、両面テープ貼り付け面のほこりや汚れ等をよく拭き取ってから部品を取り付けて下さい。</p>	<p>余分な束線バンドは切り取って下さい。 他部品との干渉により故障の原因となります。</p>	
		

### 参考

- ・車両部品の取り外し、取り付けに関しては車両の整備書を参考にして下さい。

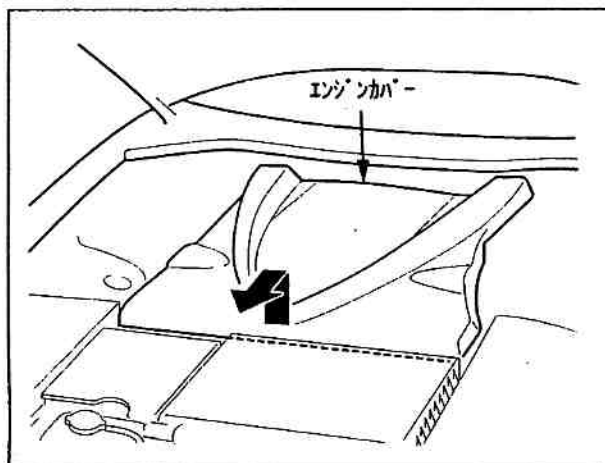
### ⚠ 警告

- ・作業は平坦な場所で車両が動かない様、Pレンジ、サイドブレーキ、輪止めをセットして行って下さい。

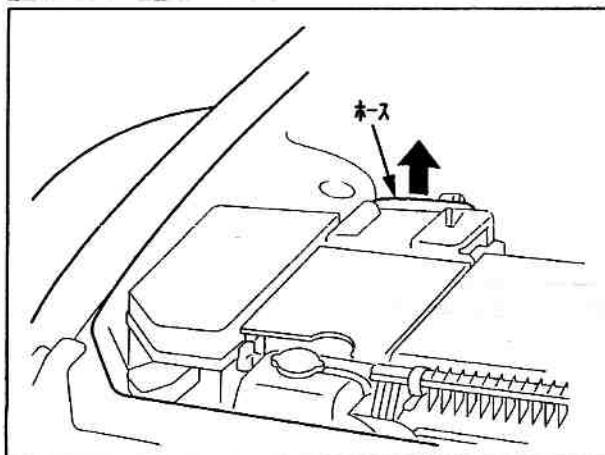
### ⚠ 注意

- ・バッテリーの⊖ターミナルを切り離すと、クロック、ラジオ、トリップメーターなどのメモリーが消去されますので、作業前に各メモリー内容を記録して下さい。

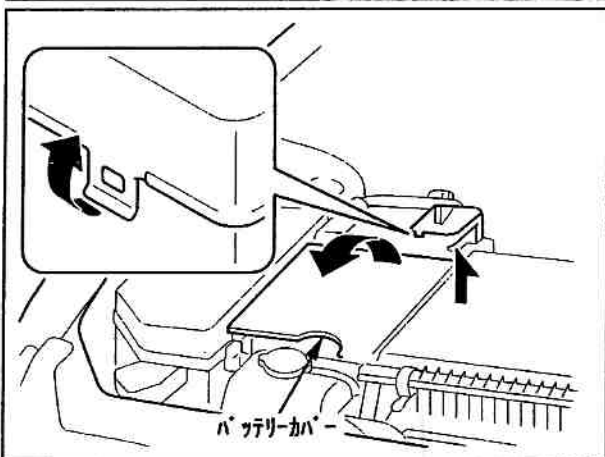
# バッテリーターミナルの切り離し



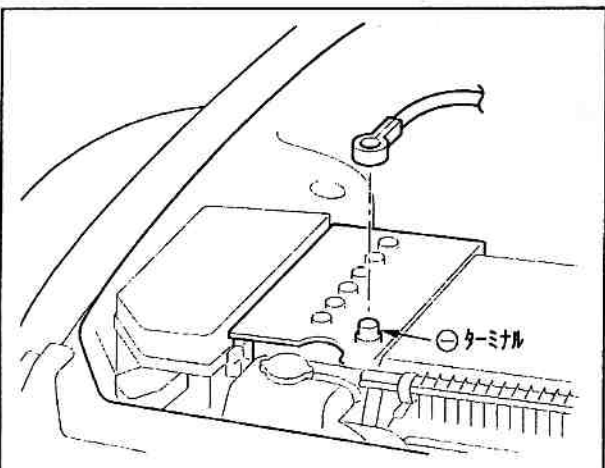
1. ヘッドランプやエアコンなどの電源が切っていることを確認します。
2. エンジンカバーを取り外します。



3. ホースをバッテリーカバーから取り外します。



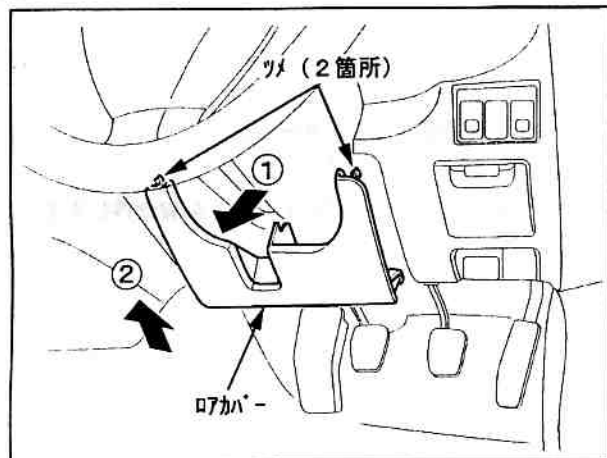
4. バッテリーカバーを後側から持ち上げて、取り外します。



5. ⊖ターミナルを切り離します。

## ⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないで下さい。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

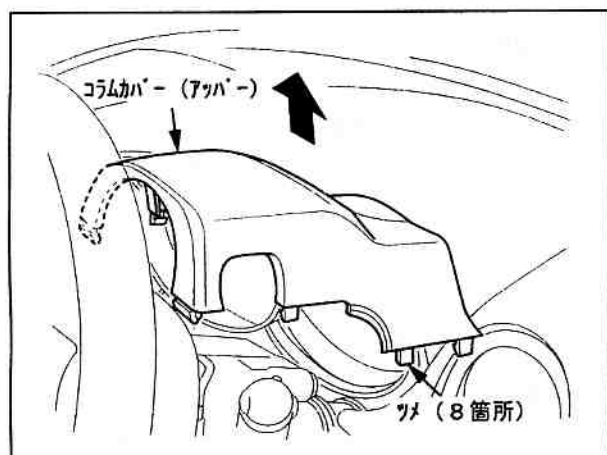


### ⚠ 注意

- 取り外した部品は、キズを付けたり、紛失しないように十分注意して下さい。
- 取り外した部品は復元時再利用しますので、組付け位置がわかるように保管して下さい。

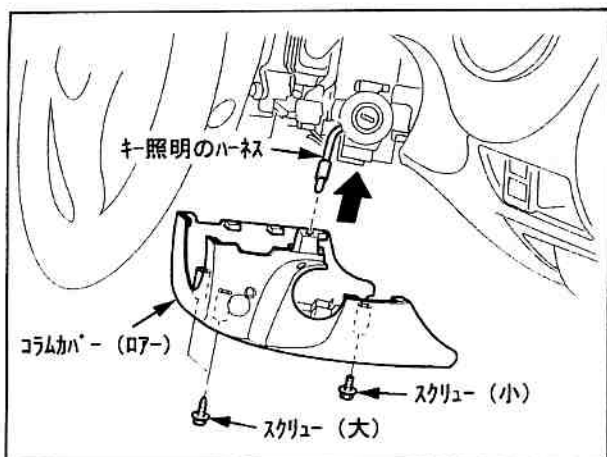
#### ロアカバーの取り外し

1. ロアカバーのツメ (2箇所) を矢印①の方向に取り外し、矢印②の方向に持ち上げて取り外します。

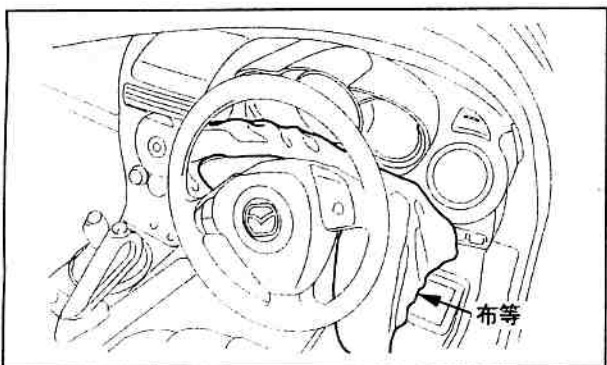


#### コラムカバーの取り外し

1. ハンドル下にあるチルトレバーを解除し、ハンドル位置を一番下に下げます。
2. コラムカバー (アッパー) のツメ (8箇所) の嵌合を外し、矢印方向へ取り外します。

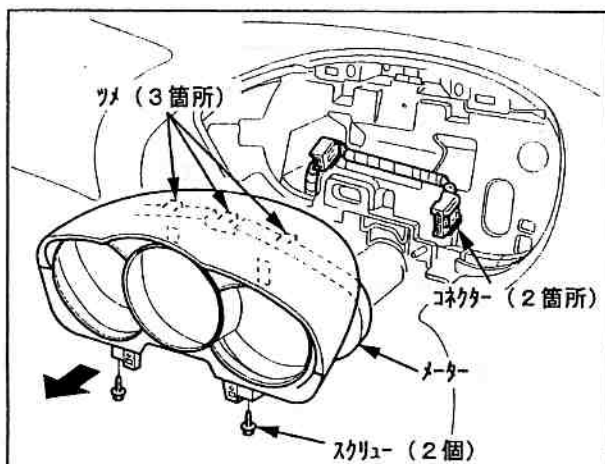


3. コラムカバー (ロア) を取り付けているスクリュー (大×2個、小×1個) を外し、キー照明のハーネスを矢印方向に取り外します。

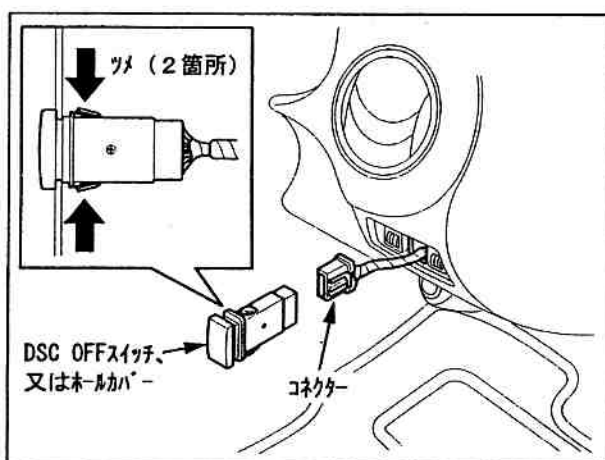


#### メーターの取り外し

1. 取り外し作業前に、傷付き防止のため必ず、ハンドル裏全面を布等で覆い、車両部品を保護します。

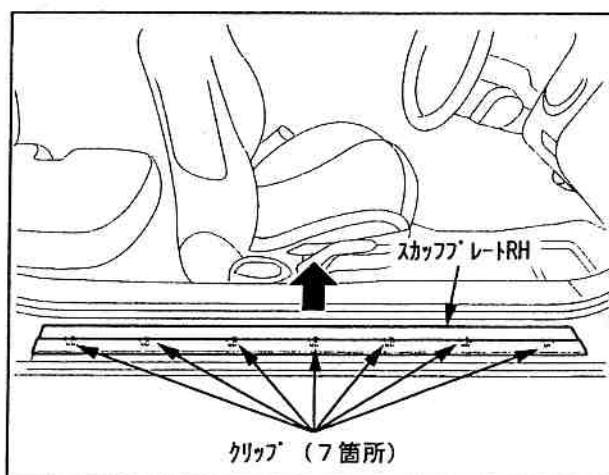


2. メーターを取り付けているスクリュー (2個) とツメ (3箇所) の嵌合を外し、矢印方向に取り外します。
3. メーター裏側のコネクター (2箇所) を切り離します。
4. ハンドルに注意しながらメーターを取り外します。



#### DSC OFF スイッチ又はホーンカバーの取り外し

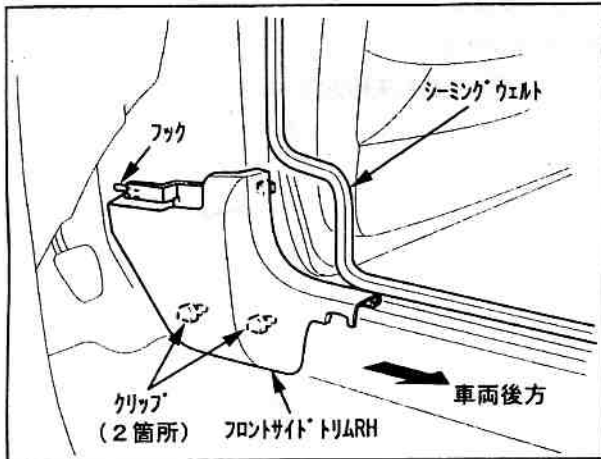
1. DSC OFF スイッチ又はホーンカバー裏からツメ (2箇所) を押さえて手前に引き出します。
2. DSC OFF スイッチ又はホーンカバーのコネクターを切り離します。



#### スキャフプレートRHの取り外し

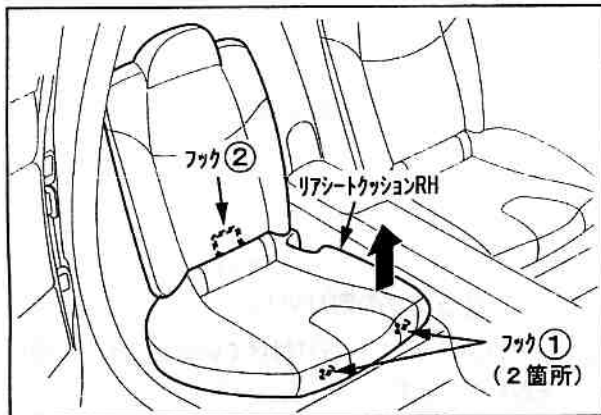
1. クリップ (7箇所) の嵌合を外し、スキャフプレートRHを矢印方向へ取り外します。





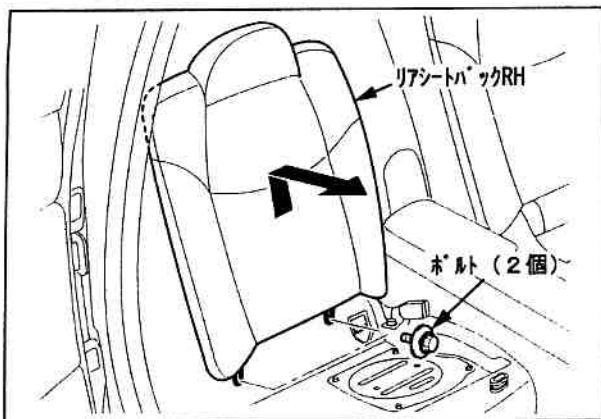
### フロントサイドトリム RH の取り外し

1. フロントサイドトリム RH 部分のシーミングウェルトを外します。
2. クリップ (2箇所) の嵌合を外し、車両後方に引っ張り、フックを外してフロントサイドトリム RH を取り外します。



### リアシートクッション RH、リアシートバック RH の取り外し

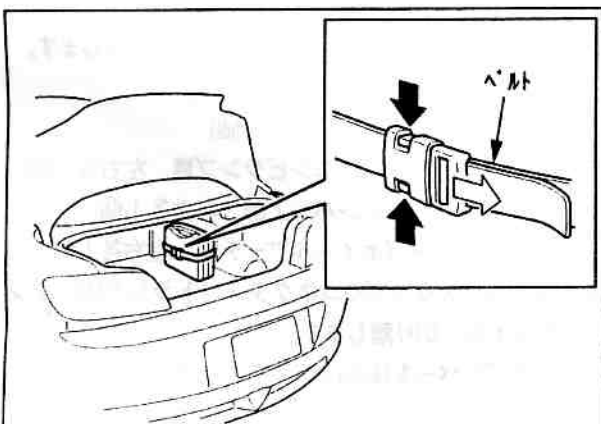
1. リアシートクッション RH 前側のフック① (2箇所) を取り外します。
2. 後側のフック②を外し、リアシートクッション RH を取り外します。



3. リアシートバック RH を取り付けられているボルト (2個) を外し、矢印方向へ取り外します。

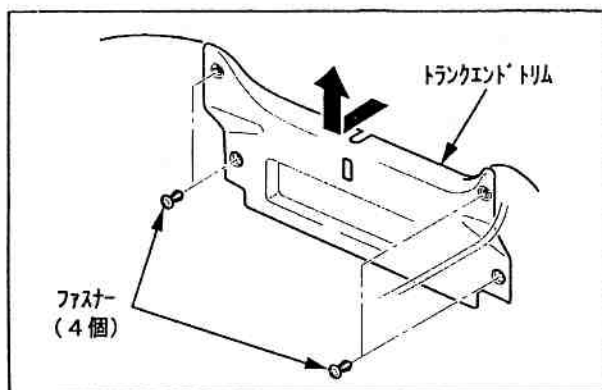
### ⚠ 警告

- リアシートバック RH 取り付け時の締付けトルク  
ボルト: 21.6~30.4N・m



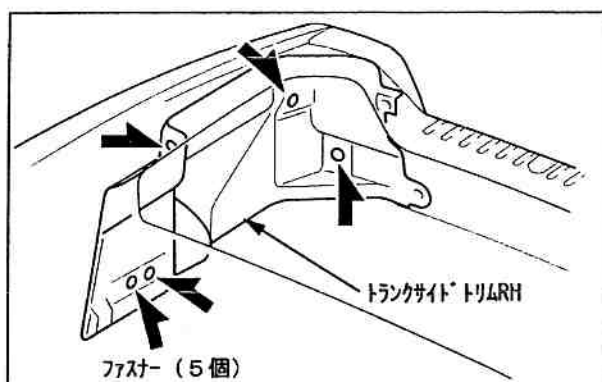
### パンク修理用キットの取り外し (トランク内)

1. ベルトを外し、パンク修理用キットを取り外します。



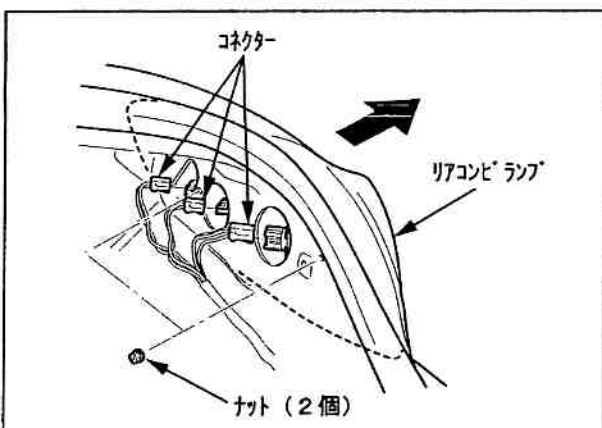
### トランクエンドトリムの取り外し

1. トランクエンドトリムを取り付けているファスナー (4個) を外し矢印方向へ取り外します。



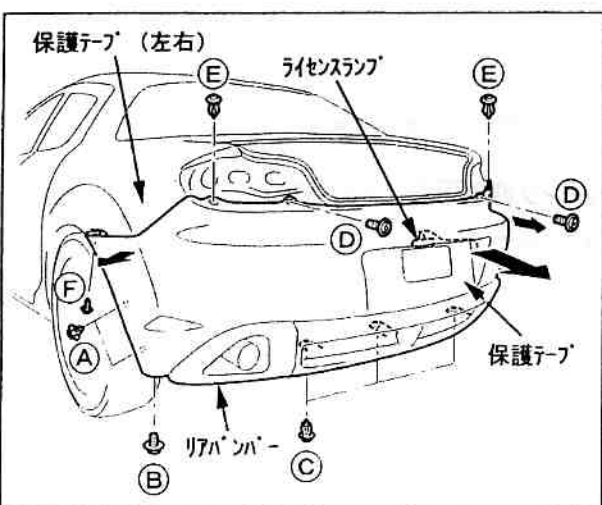
### トランクサイドトリム RH の取り外し

1. トランクサイドトリム RH を取り付けているファスナー (5個) を外し、取り外します。



### リアコンビランプの取り外し

1. リアコンビランプを取り付けているナット (2個) を取り外します。  
リアコンビランプ取り付け時の締付けトルク  
ナット: 7.8~10.8N・m
2. リアコンビランプのコネクターをソケットから切り離します。
3. リアコンビランプを矢印方向に引き抜きます。

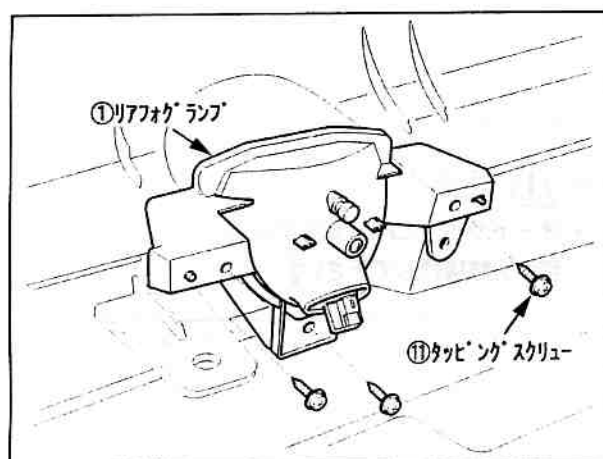
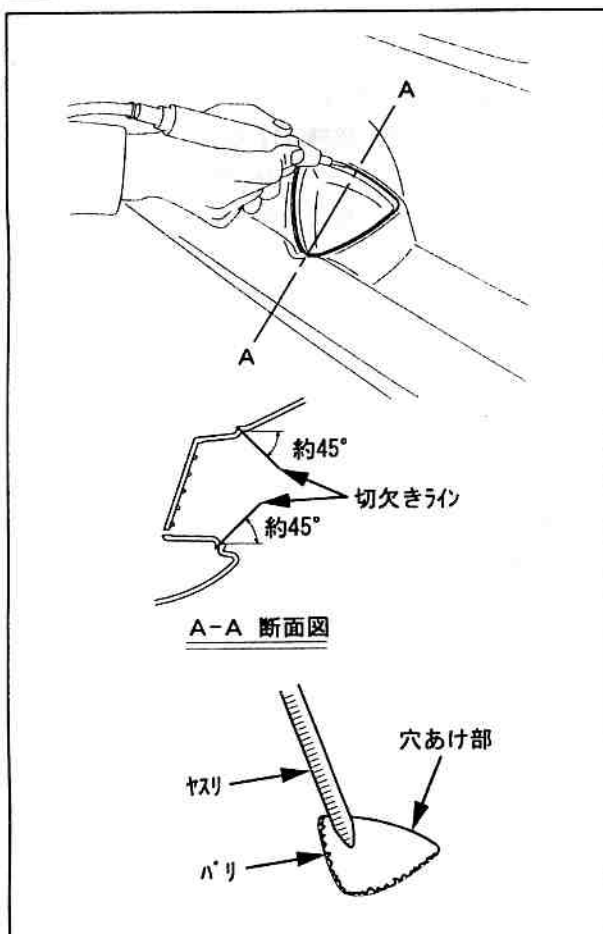


### リアバンパーの取り外し

1. 車体の傷付き防止のため、保護テープを貼ります。
2. マッドガードを締結しているファスナーを取り外し、マッドガードをめくります。  
(A)ファスナー (左右各2個)
3. リアバンパーを締結している部品を取り外します。  
(B)ボルト (車体下部、左右各1個)  
(C)ファスナー (車体下部、3個)  
(D)スクリュー (リアコンビランプ裏、左右各1個)  
(E)ファスナー (バンパー上部、左右各1個)  
(F)スクリュー (ホイールアーチ部、左右各1個)
4. ライセンスランプのコネクター (トランク内) をソケットから切り離します。
5. リアバンパーを後ろにスライドさせながら取り外します。



## 7 リアフォグランプの取り付け



### リアバンパーの穴開け加工

1. 保護シートの上にリアバンパーを置きます。
2. 超音波カッター等を使用し、リアフォグランプ取り付け位置に穴をあけます。

#### ⚠ 警告

- 刃物等の取り扱いには怪我のないよう、十分注意して下さい。

3. 穴あけ部のバリをヤスリ等で取り除きます。

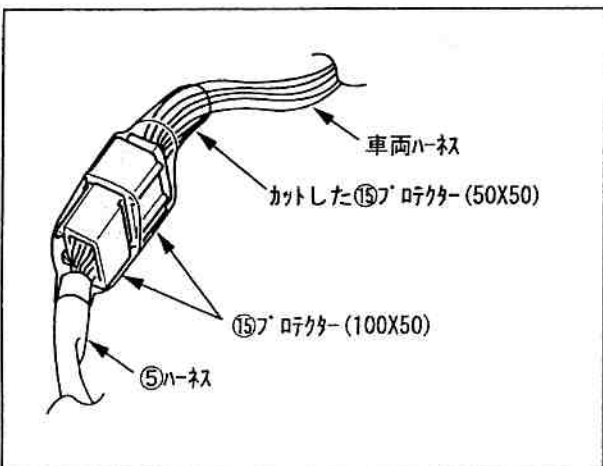
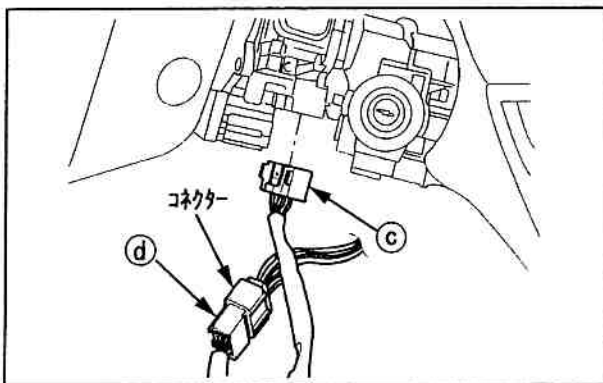
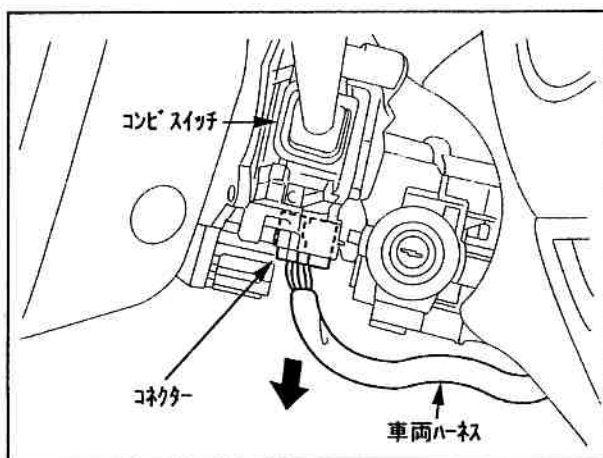
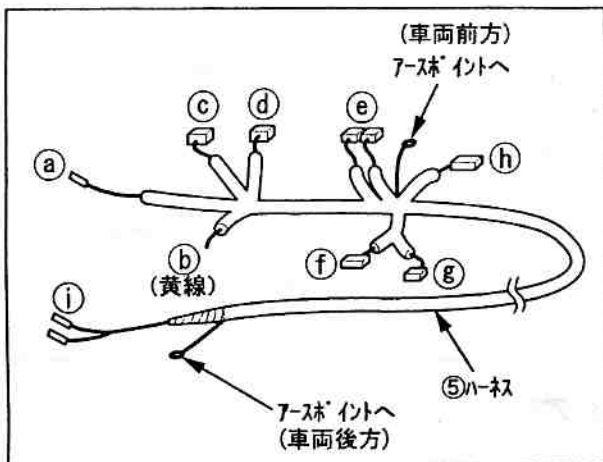
#### ⚠ 注意

- バリを取り除く際、穴が大きくなるように注意して下さい。

4. リアフォグランプをタッピングスクリュー（3個）で取り付けます。

締付けトルク

タッピングスクリュー：0.3～1.5N・m



### ハーネスの接続先概要

- ①メーターへ接続
- ②キーレススイッチへ接続 (エレクトロタップ接続)
- ③コンビスイッチへ接続 (17 極コネクター)
- ④車両ハーネスへ接続 (17 極コネクター)
- ⑤リレーへ接続 (4 極コネクター)
- ⑥リアフォグランプスイッチへ接続 (6 極コネクター)
- ⑦車両ハーネスへ接続 (4 極コネクター)
- ⑧CPU へ接続 (16 極コネクター)
- ⑨リアフォグランプへ接続

### コンビスイッチへのハーネス接続

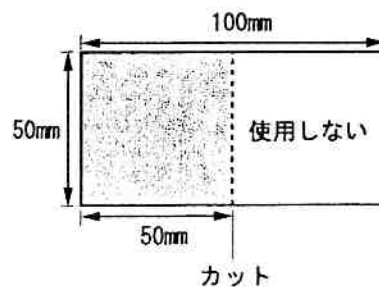
1. コンビスイッチのコネクターを矢印方向に切り離します。

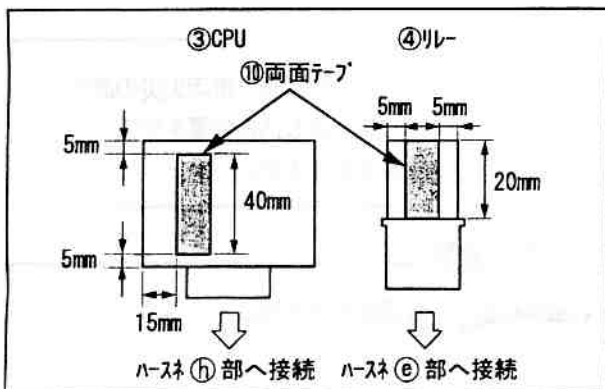
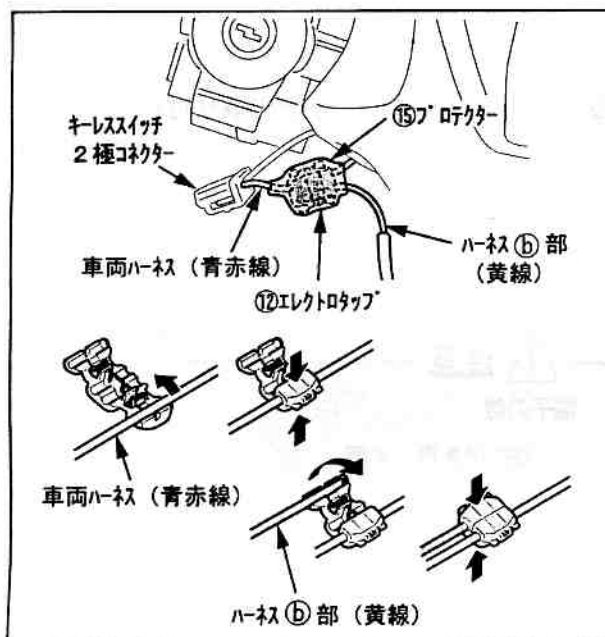
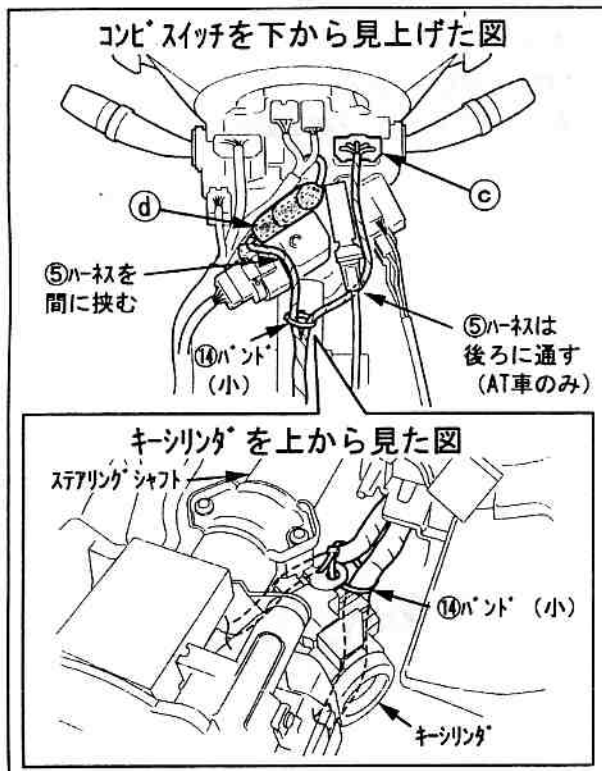
2. 取り外し元に、ハーネス④部を接続し、取り外したコンビスイッチのコネクター先にハーネス⑤部を接続します。

### ⚠ 注意

- オートライトと同時装着する場合は、ハーネス④部に分岐接続して下さい。

3. 2で取り付けしたハーネス④部を覆うように、プロテクター2枚 (100X50) と半分にカットした1枚 (50X50) を巻き付け保護します。





4. 車両ハーネスとハーネスは図を参照し、所定の位置に配置します。

### ⚠ 注意

- ハーネス④部はエッジによるハーネスの傷付きに注意しながら奥へ押し込んで下さい。奥まで押し込まれていないと、コラムカバーの取り付けが出来ない可能性があります。

5. バンド (小) は、締め付けず、ハーネスを吊るした状態で取り付けます。

### エレクトロタップでのハーネス接続

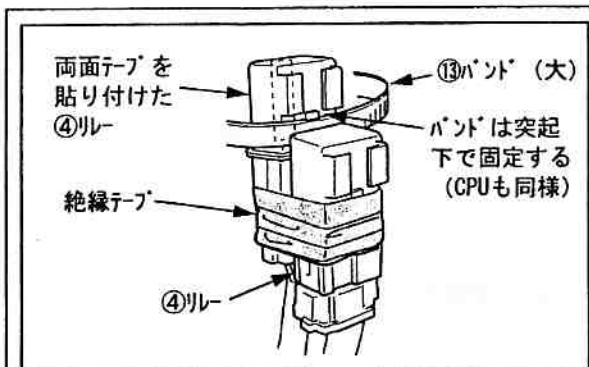
- ハーネス⑥部 (黄線) をキーレススイッチ 2 極コネクタ部の車両ハーネス (青赤線) にエレクトロタップで分岐接続します。
- エレクトロタップにプロテクターを巻き付けます。

### CPU、リレーの取り付け及び配線

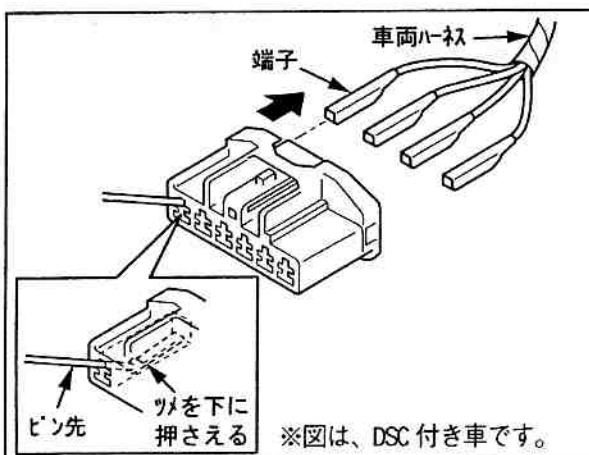
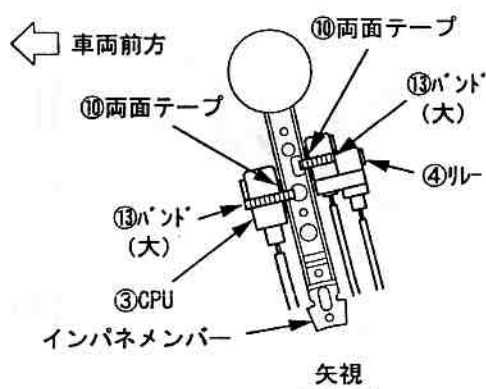
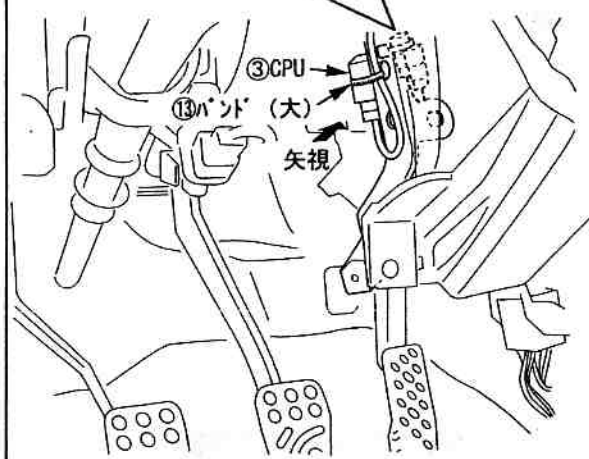
- CPU とリレー (1 個のみ) にカットした両面テープを貼り付け、ハーネス⑧部と⑨部へ、それぞれ接続します。

### ⚠ 注意

- 両面テープ貼り付け面を IPA (イソピルアルコール) 等で油分や、ほこり等をふき取って下さい。



2. 残りのリレーをハーネス⑩部と接続し、リレー 2 個を図のように組み合わせて絶縁テープで固定します。
3. CPU とリレーを図の位置へ両面テープで貼り付けた後、バンド (大) 2 本を使用し固定します。



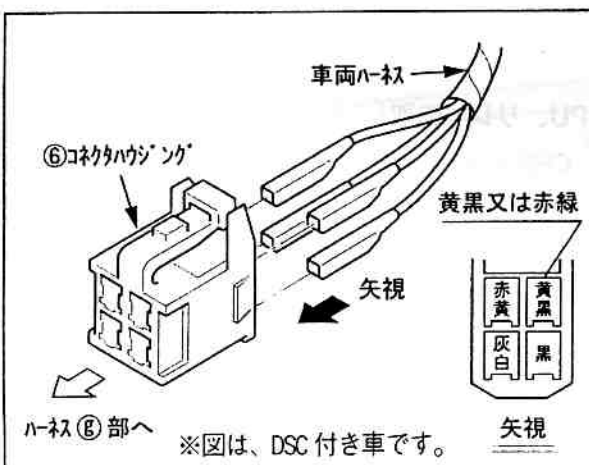
#### リアフォグランプスイッチの取り付け

1. 「DSC OFF スイッチ又はホルンカバーの取り外し」(6 ページ参照) で切り離れたコネクタの穴にピン先を入れ、中のツメを押さながら端子を引き出します。

#### 注意

端子の数

- ・DSC 付き車：4 個
- ・DSC 無し車：2 個



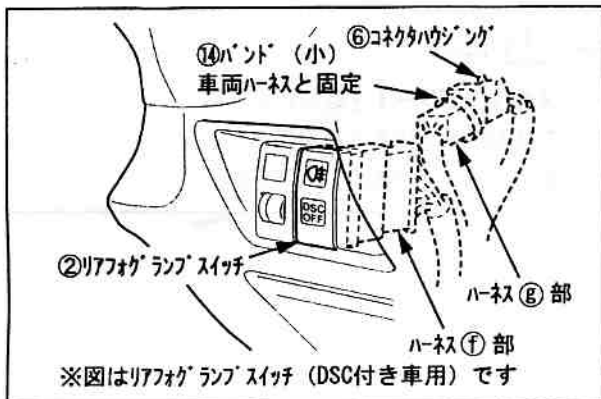
2. 1. で引き出した端子を本キットのコネクタハウジングへ差し込み、ハーネス⑩部へ接続します。

#### 警告

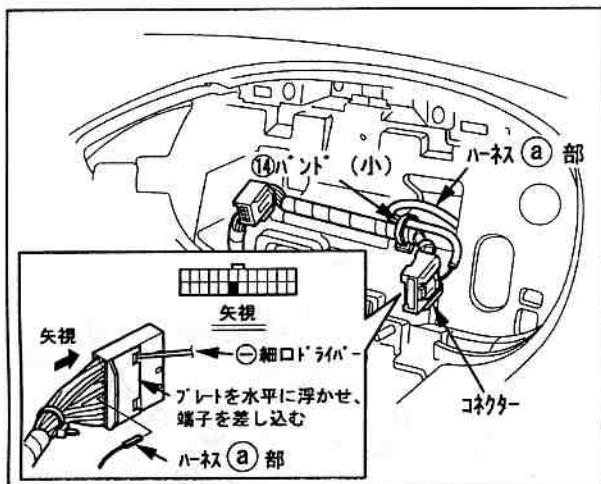
- ・端子の差し替えは、作動不良、車両火災の原因となりますので、線色、差し込み位置を間違えないように慎重に作業をして下さい。

#### 注意

- ・車両により、黄黒線又は赤緑線となっています。
- ・DSC 無し車は、赤黄線、灰白線のみです。

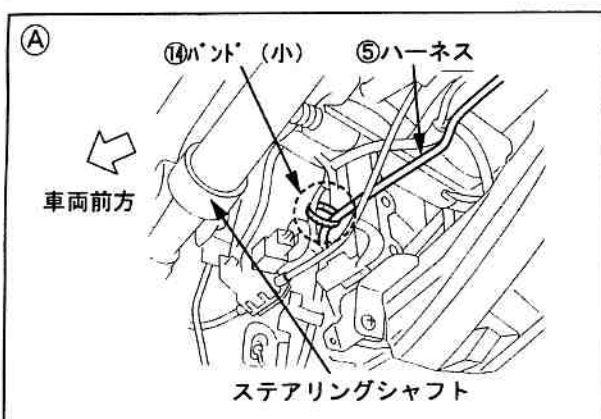


- リアフォグランプスイッチにハーネス①部を接続し、車両に取り付けます。



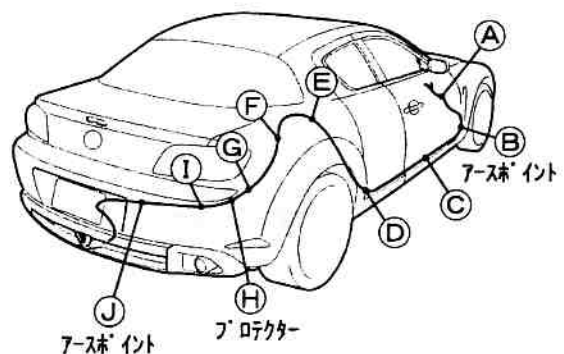
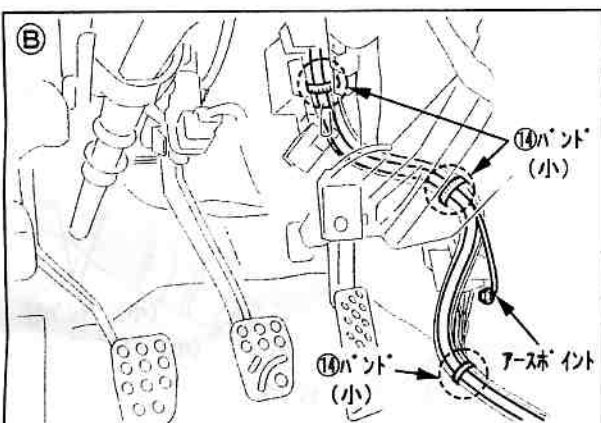
### メーターハーネスの取り付け及び配線

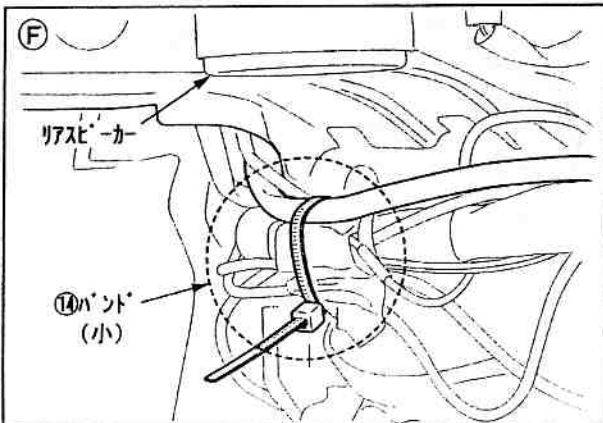
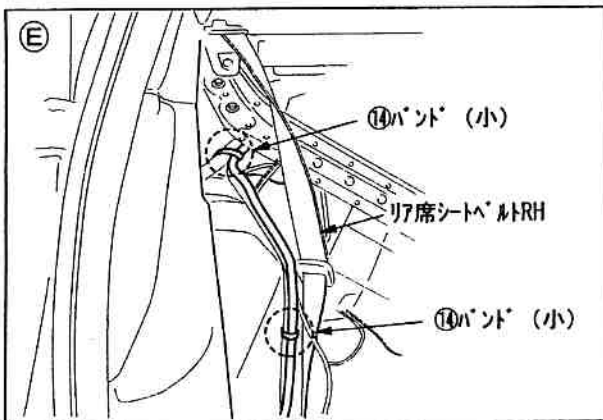
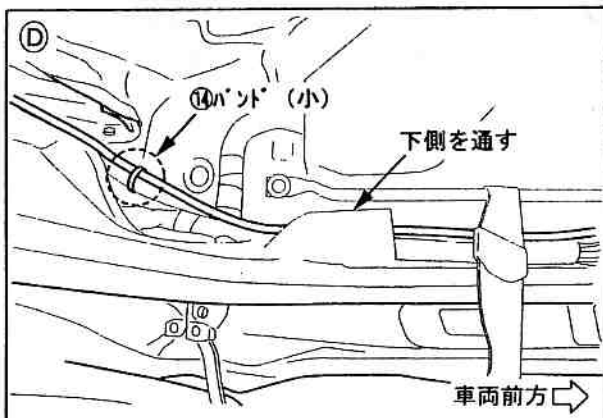
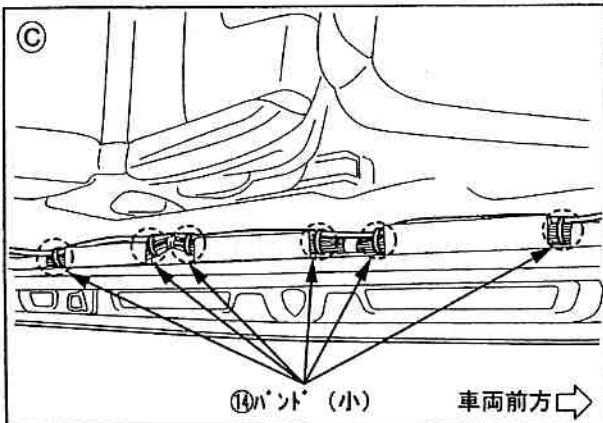
- 「メーターの取り外し」(6ページ参照)で切り離したコネクタにハーネス⑧部の端子を差し込み、バンド (小) で固定します。



### リアフォグランプへの配線

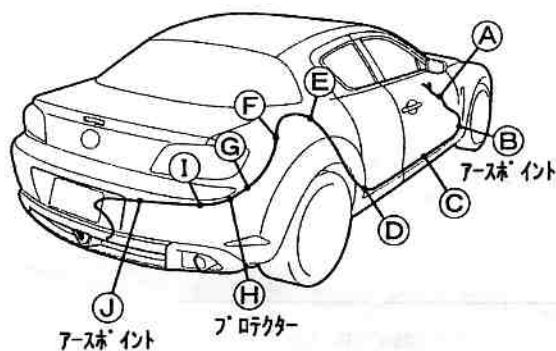
- ハーネス①部をリアフォグランプ取り付け位置までバンド (小) を使用し、固定していきます。
- 車両前方アースポイント (B参照) に車両ボルトで共締めします。  
締付けトルク  
ボルト：7.8~10.8N・m



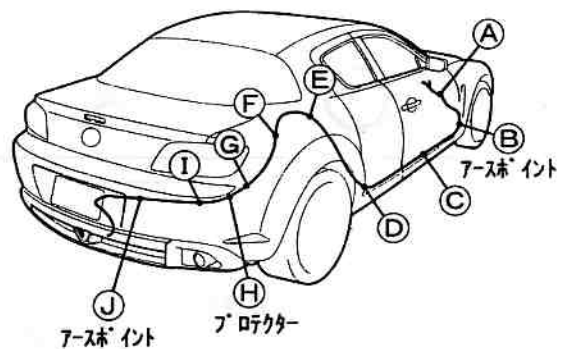
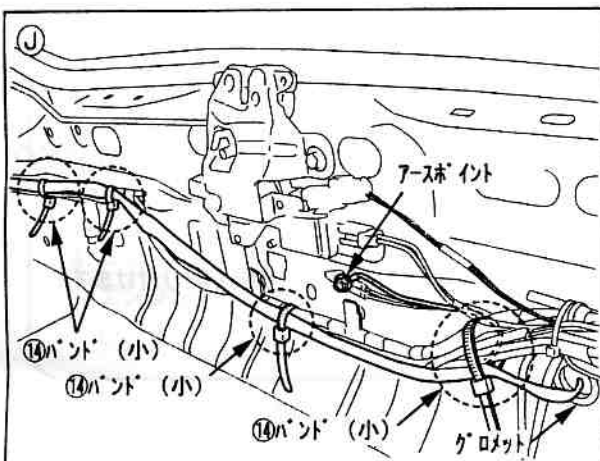
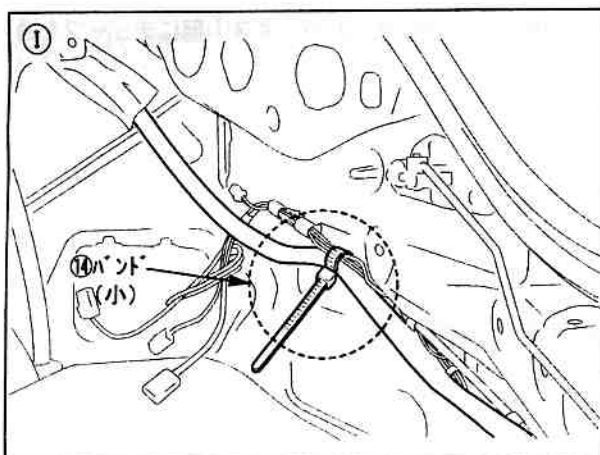
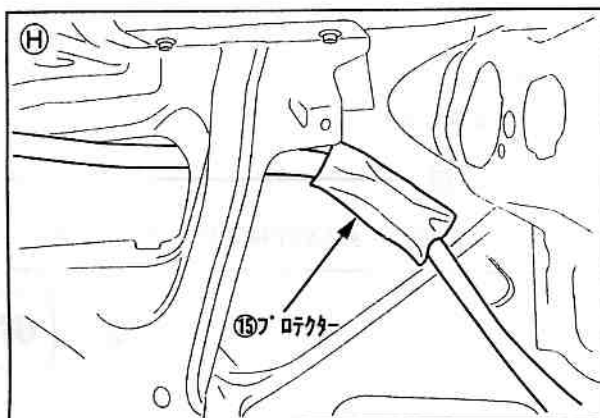
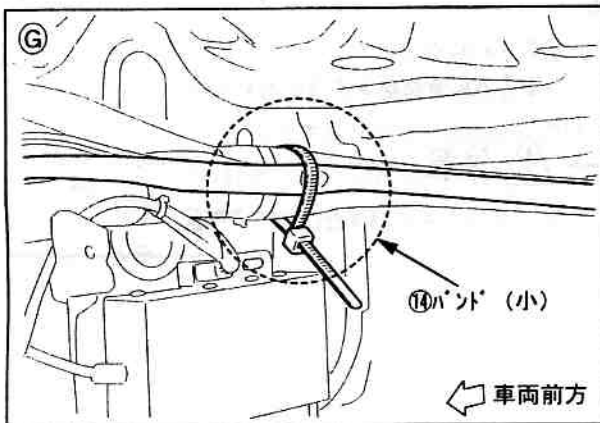


# ⚠ 注意

- スカッフプレートを取り付ける際、ハーネスのかみ込むのをさけるため車両ハーネスに確実に沿わせて、バンドで固定して下さい。



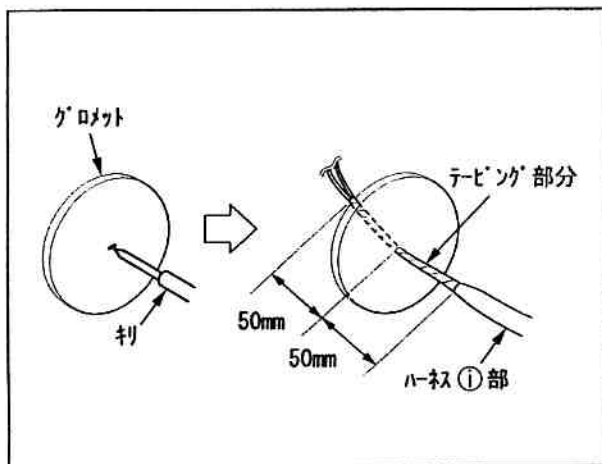




3. 車両後方アースポイント (J参照) に車両ボルトで共締めします。

締付けトルク

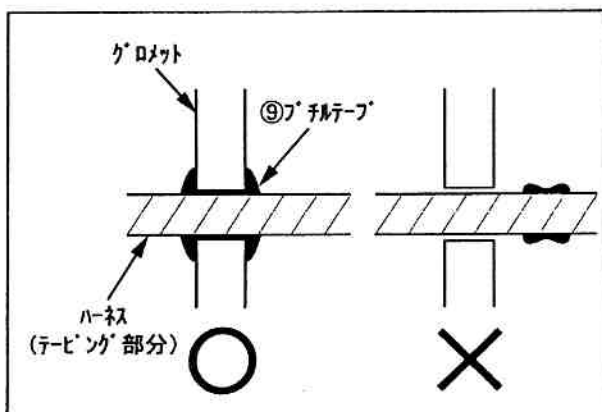
ボルト：7.8～10.8N・m



4. グロメットにキリ等で穴をあけ、ハーネス①部を通します。このとき、テピング部分の中央がグロメットの穴にまたがるように通します。

### ⚠ 注意

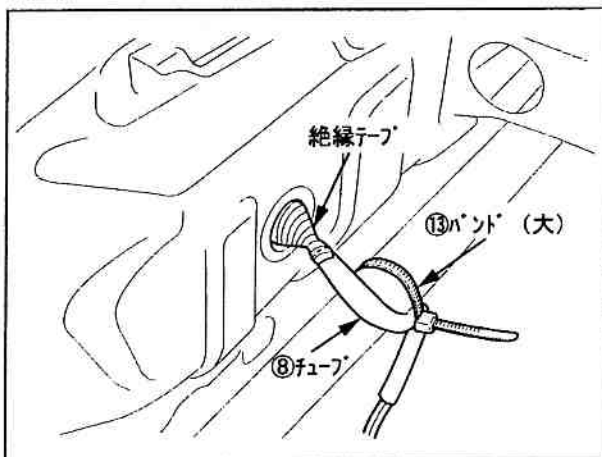
- 穴は大きくあけ過ぎないで下さい。



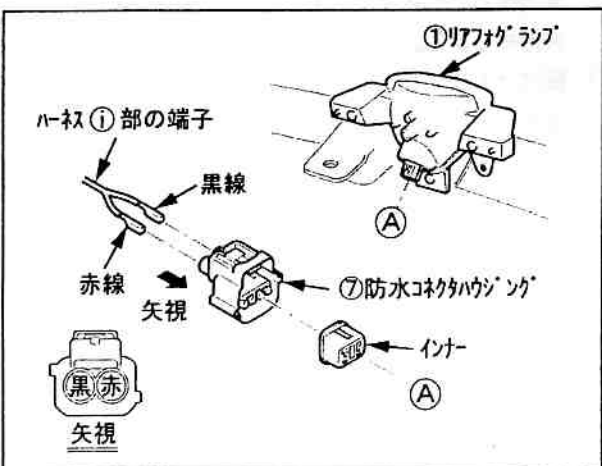
5. ブチルテープをハーネスに巻き付けて、外側からハーネスを引っ張り、巻き付けたブチルテープで穴をシーリングします。

### ⚠ 注意

- 水侵入の可能性があるので確実に防水して下さい。



6. グロメット穴に通したハーネス①部にチューブを通します。チューブ上側を絶縁テープで巻き、バンド(大)で固定します。



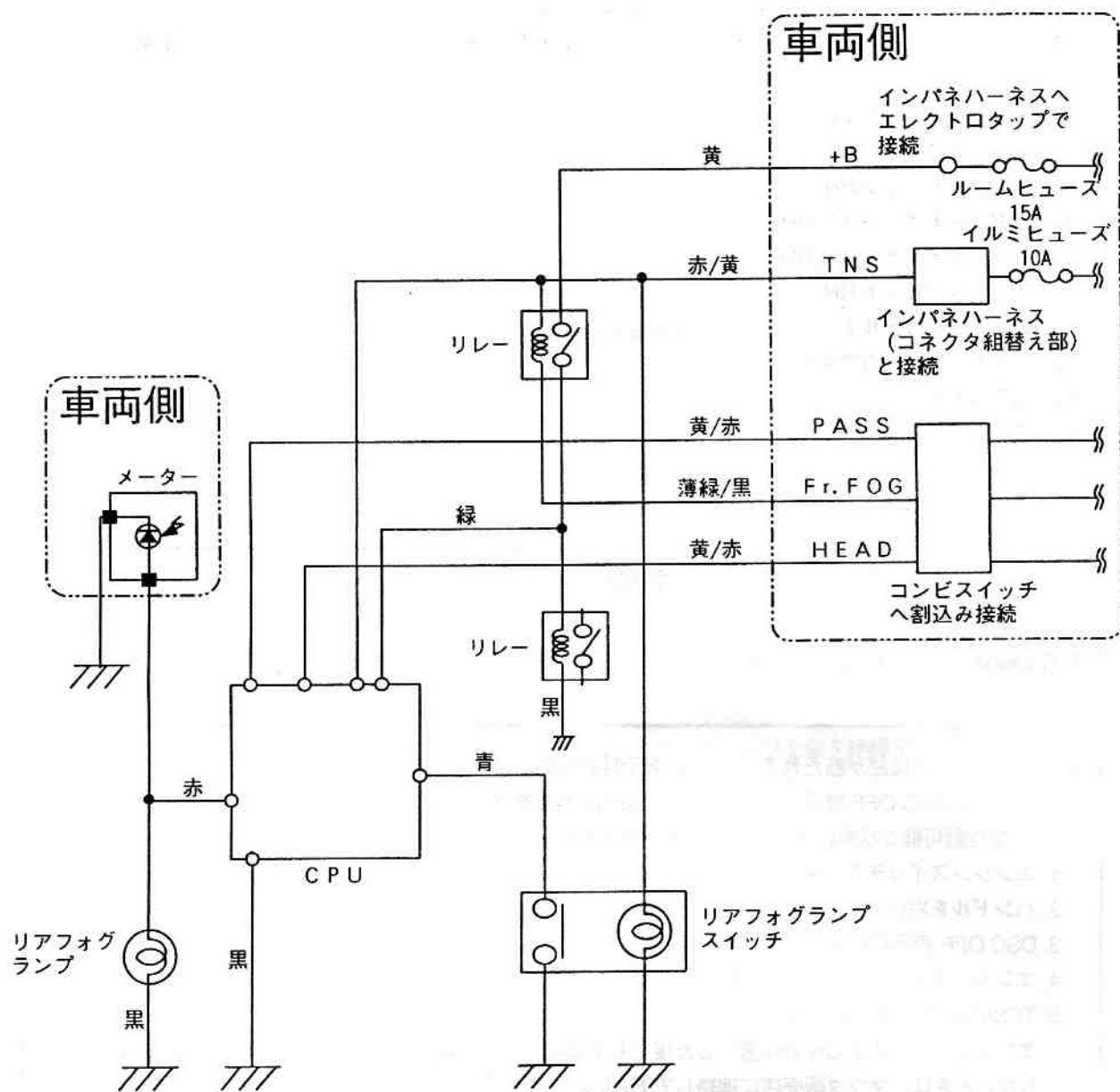
7. 防水コネクタハウジングからインナーを外し、ハーネス①部の端子を差し込み、再びインナーを取り付けます。
8. リアバンパーとリアコンビランプを取り外しと逆の手順で取り付けした後、リアフォグランプと接続します。
9. メーターを取り外しと逆の手順で取り付けます。

1. バッテリーの⊖ターミナルを接続します。
2. リアフォグランプスイッチが点灯することを確認します。  
(点灯条件は、「リアフォグランプ取扱説明書」を参照して下さい。)
3. 異常がなければ「6 車両部品の取り外し」で取り外した部品を取り外しと逆の手順で取り付けます。
  1. トランクサイドトリム RH
  2. トランクエンドトリム
  3. バンク修理用キット
  4. リアシートバック RH
  5. リアシートクッション RH
  6. フロントサイドトリム RH
  7. スカッフプレート RH
  8. シーミングウェルト
  9. コラムカバー (ロアー)
  10. コラムカバー (アッパー)
  11. ロアカバー
  12. バッテリーカバー
  13. エンジンカバー

「9 作動確認」で異常がなければ、下記の作業を行って下さい。

### ⚠ 注意

- バッテリーとの接続が断たれると、DSC 表示灯が作動しなくなります。  
(このとき DSC OFF 表示灯が点滅し、TCS/DSC 作動表示灯が点灯します。)  
DSC を作動可能な状態にするために、次の操作を行って下さい。
  1. エンジンスイッチを ON の位置にします。
  2. ハンドルを右いっぱいまで回し、その後左いっぱいまで回します。
  3. DSC OFF 表示灯が消灯することを確認します。
  4. エンジンスイッチを OFF の位置にし、再度 ON の位置にします。
  5. TCS/DSC 作動表示灯が消灯することを確認します。  
エンジンスイッチを ON の位置にした後でも TCS/DSC 作動表示灯および DSC OFF 表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡して下さい。
- バッテリーとの接続が断たれると、パワーウィンドウが自動で全開、全閉できなくなります。機能を作動可能な状態にするために、次の操作を行って下さい。
  1. エンジンスイッチを ON の位置にします。
  2. パワーウィンドウのスイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
  3. スwitchを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間パワーウィンドウスイッチを引き上げ続けます。
  4. エンジンスイッチを OFF の位置にし、再度 ON の位置にします。  
エンジンスイッチを ON の位置にした後でも機能が作動しないときは、マツダ販売店に連絡して下さい。



# 架装点検シート

【取付店用】

R X - 8	リアフォグランプ
	F151 V7 250 (DSC 付き車) F152 V7 250A (DSC 無し車)

## 作業終了後の点検項目

- 取り付け部品及び取り外した部品の復元後の点検を下記項目に従って行って下さい。

点検箇所	点検項目 (○印)			
	隙 折り合い	傷、汚れ テフ <sup>※</sup> 残り	締め付け かん合	作動確認
ロアカバー、コラムカバー	○	○	○	
メーター	○	○	○	○
スカッフプレート RH	○	○	○	
フロントサイドトリム RH	○	○	○	
リアシートクッション RH、 リアシートバック RH	○	○	○	
トランクエンドトリム	○		○	
トランクサイドトリム RH	○		○	
リアバンパー	○	○	○	
リアコンビランプ	○	○	○	○
リアフォグランプ	○	○	○	○
DSC OFF 表示灯 (DSC 付き車のみ)				○
パワーウインドオート機能				○

## 重点チェック項目

No.	項目	チェック欄
1	取り付け部品、及び取り外した部品の復元した際、アクセルペダル、ブレーキペダル、ステアリング等の可動部に干渉していないか各可動部を動かし確認して下さい。	
2	リアフォグランプのハーネスはブレーキペダル、アクセルペダル、ステアリング等の可動部に干渉していないか各可動部を動かし確認して下さい。	
3	車両の既存機能が正常に作動するか確認して下さい。	

## リアフォグランプ架装チェック

日付け						年	月	日
車体 No.								
責 任 者		チ ー フ		担 当				

※ 本シートの保存期間：3ヶ月